

# 基本的方向 6

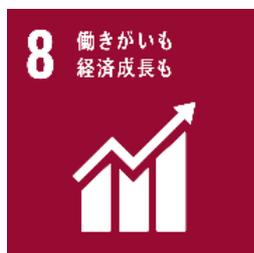
## 文化芸術活動の推進

施策 24 文化芸術に触れる機会の充実

施策 25 文化資源の有効活用

施策 26 文化芸術施設の基盤強化

【基本的方向 6 と関連する SDGs】



基本的方向 6

地域の文化力向上に向けた文化芸術活動を推進します。

施策 24 文化芸術に触れる機会の充実

◇現状と課題◇

文化芸術に関しては、少子高齢化やグローバル化の進展など社会の状況が著しく変化  
 する中で、単にその振興のみにとどまらず、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、  
 産業等の幅広い関連分野との連携を視野に入れた総合的な文化芸術政策の展開が、より  
 一層求められるようになってきました。こうした状況の中で平成 29（2017）年 6 月 23  
 日、文化芸術振興基本法の改正が行われ、法律名も新たに「文化芸術基本法」となると  
 ともに、本法の規定に基づき、政府が「文化芸術推進基本計画-文化芸術の『多様な価値』  
 を活かして、未来をつくる-（第 1 期）」※1 を策定しました。その計画の目標 1 には「文  
 化芸術の創造・発展・継承と教育」が掲げられています。ここでは、文化芸術の創造・発  
 展、次世代への確実な継承、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加  
 機会の提供が示され、その達成に向けた取組の推進が求められています。

本市でもこれらの背景を踏まえ、佐野未来館の市民ギャラリーを活用した講座や作品  
 展等の開催をするなど市民が文化芸術に触れる機会の充実を図っています。また、学校  
 にアーティスト等を派遣し、子どもたちが本物の文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供  
 する文化芸術アウトリーチ事業も実施しています。さらに、地域の文化芸術の継承や発  
 展には地域で活動している文化芸術活動団体が重要な役割を果たすことから、各団体等  
 と連携した取組を推進しています。

しかしながら、本市では少子高齢化・ライフスタイルの多様化等の影響により文化芸  
 術活動団体が年々減少傾向にあります。今後、将来における文化芸術の創造・発展・継  
 承のために、佐野市文化協会等への登録団体数の増加や文化の担い手の育成を図るこ  
 とを目指します。

また、令和元（2019）年からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、イベン  
 トの中止や文化芸術施設が利用制限されるなど、文化芸術を取り巻く環境は大きく変化  
 しました。今後、感染症対策を踏まえたイベントや文化芸術活動の在り方についても検  
 討し、本市の文化をより香り豊かなものにしていきたいと考えています。

主な取組 (1) 本物の文化芸術を体験する機会の提供

将来における文化芸術の担い手の育成や次代を担う子どもたちの豊かな情操  
 を培い健全育成に資することを目的に、本物の文化芸術を体験する機会の提供  
 に取り組みます。

※1「文化芸術推進基本計画-文化芸術の『多様な価値』を活かして、未来をつくる-（第 1 期）」（平成 30（2018）年 3 月 6 日閣議決定：  
 計画期間平成 30 年度～令和 4 年度）

## 【具体的な方策】

**①子どもたちの文化芸術鑑賞・文化芸術体験の充実**

地元在住や地元出身のアーティストが市内小学校・義務教育学校前期課程を訪問し、地域とのつながりを感じ、間近で本物の音楽、演劇、美術等に触れることができる機会の充実を図ります。

また、文化協会主催の出前講座の活用や文化会館の指定管理者による中学生を対象とした鑑賞事業等、官民連携して文化芸術に触れる機会を推進します。

## 【関連事業、会議、研修】

○子どもふれあい文化芸術事業

主な取組 **(2) 文化芸術活動団体との連携・支援**

市内各文化芸術団体への活動支援の充実や市民が文化芸術を創造・表現したり触れたりする機会の充実等を通して、本市の文化芸術の振興を図ります。

## 【具体的な方策】

**①市内各文化芸術活動団体への活動支援の充実**

市民文化祭、市民音楽祭等の主催・共催など、市内各文化芸術団体が継続して活動していくことができるよう活動支援の充実を図ります。

**②市民ギャラリーを活用した文化芸術活動の推進**

まちなか活性化ビル「さの未来館」での個人や団体での作品の展示、音楽や演劇の発表等の場の提供を通して、市民が文化芸術を創造・表現したり、文化芸術に触れたりする機会の充実を図ります。



佐野未来館



市民ギャラリー

**③文化芸術分野での全国大会出場者への支援の充実**

文化芸術分野で全国大会等に出場する小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校の子どもたちの栄誉を称えるとともに、活動の継続につながるよう支援の充実を図ります。

主な取組 **(3) 感染症等を乗り越え文化芸術に触れる機会を生み出す取組の推進**

文化協会等の各種団体と連携し、新型コロナウイルス感染症等を乗り越えて文化芸術に触れる機会を生み出せるように努めます。

【具体的な方策】

**①感染症対策を踏まえたイベント開催等に向けた検討の推進**

新型コロナウイルス感染症等に関する最新の感染防止の方策と感染状況に注意を払い各種の文化芸術イベントが開催できるよう検討します。

【関連事業、会議、研修】

- 佐野市文化協会支援事業
- 市民ギャラリー管理運営事業
- 全国大会等出場者支援事業

**成果指標**

成果指標	基準値 令和2(2020)年度	目標値 令和7(2025)年度
学校訪問事業等実施数	5校 R2はコロナ禍のため減少	21校

**施策25 文化資源の有効活用**

◇現状と課題◇

文化資源は、長い歴史を通じて各地域の先達の地道な努力により今に受け継がれてきた価値あるものであり、大切な宝として地域住民の理解を深め、確実に保存、継承するとともに、積極的な活用を図り、地域の活性化につなげていくことが求められています。

本市には、市を代表する伝統工芸として千年の歴史を誇る「天明鋳物」があります。そして、この天明鋳物を活用したまちづくりを推進するために「天明鋳物のまちづくり推進計画」を策定し、天明鋳物を活用した地域の活性化等の施策に取り組んでいます。また、市内には牧歌舞伎などをはじめ各地域に伝わる伝統芸能が存在し、佐野市郷土芸能保存会を中心に郷土芸能フェスティバルを開催するなど、伝統芸能の魅力を伝える取組を積極的に推進しています。地域に伝わる伝統芸能を継承していくことは、貴重な文化を次代に残していくとともに、市民の地域への誇りと愛着を醸成することにもつながります。今後も保存会への支援を継続するとともに、伝統芸能を継承するための取組の

充実が必要となっています。

さらに、市立美術館である吉澤記念美術館では、伊藤若冲の「菜蟲譜」をはじめ多くの美術品を所蔵し、人々が作品を観る喜びや知る楽しさを享受し、美術館が人々の交流の場となるように魅力ある企画展や講座等を開催しています。今後、美術館には文化芸術の保存・継承、創造、交流、発信の拠点であるとともに、地域の生涯学習活動、国際交流活動、観光等の拠点としての役割が求められており、これらの観点を意識した取組を進めていく必要があります。

### 主な取組 (1) 天明鑄物の魅力を広める取組の推進

一千年の歴史を誇る天明鑄物の伝統と技術が後世まで継承されるとともに、天明鑄物を通じた地域活性化が図られるよう、その魅力を広める取組を進めていきます。

【具体的な方策】

#### ①天明鑄物の魅力を伝える機会の創出

現代の鑄物師の作品展示や鑄物づくり体験等、天明鑄物の魅力を広め知名度を高めるための機会の創出を図ります。



天明鑄物

#### ②地域おこし協力隊による天明鑄物のPR活動の推進

総務省の「地域おこし協力隊」の制度を活用して、市内外に向けて天明鑄物のPR活動を推進します。

【関連事業、会議、研修】

○天明鑄物のまちづくり推進事業 ○佐野市民大茶会開催支援事業

### (2) 郷土芸能の保存と継承への支援の充実

市内の郷土芸能の保存と継承のため、郷土芸能の継承団体の活動や後継者育成への支援の充実を図ります。

【具体的な方策】

**①佐野市郷土芸能保存会連絡協議会との連携と活動支援の充実**

佐野市郷土芸能保存会連絡協議会と連携し、郷土芸能の素晴らしさと魅力を伝える郷土芸能フェスティバルを開催するなど、協議会の活動支援に取り組みます。

**②伝統文化親子教室の開催支援の充実**

親子で地域の伝統文化に触れ体験することができる機会として、伝統文化親子教室の開催を支援します。

**③牧歌舞伎地元公演開催支援の充実**

県無形民俗文化財でもある「牧歌舞伎」の保存継承を図るため隔年で開催する地元公演を支援します。



牧歌舞伎

**(3) 美術館による文化資源の有効活用**

吉澤記念美術館で収蔵している各種作品の展示や関連する講座を実施することで、文化資源の継承と有効活用を図り、魅力ある文化芸術活動の推進へとつなげていきます。

【具体的な方策】

**①特色ある展覧会等の開催**

「菜蟲譜」等、特色ある収蔵品の企画展を開催し、市内外へ情報発信します。また、漆喰を利用したフレスコ画教室など、地域特有の文化資源を活用し、郷土の歴史・文化を通じて美術への理解促進を図ります。



伊藤若冲「菜蟲譜」



葛生伝承館でのフレスコ壁画の作成

【関連事業、会議、研修】

- 佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業
- 佐野市に関する美術作品等調査研究事業
- 牧歌舞伎地元公演支援事業

## 成果指標

成果指標	基準値 令和2(2020)年度	目標値 令和7(2025)年度
市内の文化財、郷土芸能を知っている割合(天明鋳物)	69.4%	77.0%

## 施策26 文化芸術施設の基盤強化

## ◇現状と課題◇

文化芸術施設は、地域の文化芸術の普及・創造の拠点であり、興行の実施・鑑賞や地域のサークル活動、生涯学習の発表の場として、市民が集い交流を深めることのできる地域の中核的な施設です。

本市には佐野市文化会館や葛生あくとプラザ、佐野市立吉澤記念美術館、人間国宝田村耕一陶芸館等、市立、私立を含め様々な文化芸術施設があり、本市の文化芸術の振興や市民の文化交流の場として大きな役割を担っています。例えば、佐野市文化会館は昭和54(1979)年に設置され、数多くの公演やイベントを開催し、市内外から多くの方が利用しています。また、人間国宝田村耕一陶芸館は、平成16(2004)年に開館し、「鉄絵」の技法で人間国宝に認定された陶芸家・田村耕一の作品を展示し偉大なる功績を讃えるとともに、本館を通じた魅力ある中心市街地活性化の推進を図っています。しかし、新型コロナウイルス感染症の発生により、各施設での企画展等は開催中止となり、利用者数は減少傾向にあります。今後の文化芸術施設の利用の在り方について検討し、感染症対策の徹底を図りながら来館者が安心して施設を利用できるような取組を推進していくことが求められています。

今後も文化芸術活動の拠点となる市内の文化芸術施設を市民が安全・安心そして快適に利用していくことができるよう適切な施設の運営や環境整備を計画的に進めていくとともに、各施設間の連携を強化し利用の促進に努めていきたいと考えています。

## 主な取組 (1) 文化芸術施設の計画的な整備改修の推進

文化芸術活動の拠点となる文化芸術施設を市民が安全・安心そして快適に利用することができるよう計画的な整備改修を推進します。

## 【具体的な方策】

## ①計画的な施設・設備の更新の検討

本市の文化芸術の拠点である佐野市文化会館や吉澤記念美術館等の文化芸術施設の老朽化対策を進めるなど、計画的な施設・設備の更新を検討していきます。

## ②指定管理者制度を活用した効率的な文化施設の運営と維持管理の推進

指定管理者制度を活用して民間事業者に管理を委託することにより、民間ノウハウを生かした施設の効率的な運営と維持管理を推進します。

- 【関連事業、会議、研修】  
 ○文化会館リニューアル事業    ○文化施設指定管理事業    ○美術館維持管理事業

## (2) 各文化芸術施設の利用促進

各文化芸術施設※1 間の連携を強化し、市民の文化向上、文化交流、地域の文化振興の拠点として吉澤記念美術館や人間国宝田村耕一陶芸館等、文化芸術施設の利用促進を図ります。また、民間施設とも連携を進めます。

【具体的な方策】

### ①魅力ある企画展等の開催

親しみやすいテーマで展示を行う収蔵企画展及び特別企画展を開催し、日本美術の魅力や楽しさを味わう機会を提供します。



吉澤記念美術館



田村耕一陶芸館

### ②美術館等を身近に親しむための教育普及活動の推進

美術館等を身近に親しむための講座や講演会の開催などの多くの美術ファンを育てるための教育普及活動を推進します。

- 【関連事業、会議、研修】  
 ○美術館講座等開催事業    ○美術館展覧会開催事業  
 ○人間国宝田村耕一陶芸館運営事業

## 成果指標

成果指標	基準値 令和 2 (2020) 年度	目標値 令和 7 (2025) 年度
文化芸術施設利用者数	39,474 人 R2 はコロナ禍のため減少	225,000 人

※1 各文化芸術施設…【公共】文化会館、葛生あくとプラザ、吉澤記念美術館、人間国宝田村耕一陶芸館、市民ギャラリー  
 【民間】東石美術館、安藤勇寿「少年の日」美術館、人間国宝田村耕一美術館